

解答用紙には、選択した問題の番号を明記すること。

【一】 次の中から一題選び、一〇〇〇字以上で論述せよ。

- ① 万葉集
- ② 古事記
- ③ 歌物語
- ④ 古注釈
- ⑤ 言文一致
- ⑥ 新感覚派
- ⑦ 方言周圏論
- ⑧ ローマ字運動

【二】 次の中から四項目選び、知るところを述べよ。

- ① 柿本人麻呂
- ② 黄表紙
- ③ ヤマトタケル
- ④ 日葡辞書
- ⑤ 防人歌
- ⑥ 農民文学
- ⑦ 枕詞
- ⑧ へボン
- ⑨ 万葉仮名
- ⑩ 内向の世代

以下の3問の中から1問を選び、【I】は日本語、【II】・【III】は現代語に直しなさい。

※解答用紙には選択した問題の番号を明記せよ。

※【I】は英語の辞書の持ち込みを認める。ただし電子辞書は不可。

【I】

〈本文略〉

\* Chamorro チャモロ族

〔田典〕 Daniel Long & Keisuke Imamura with assistance from Masaharu Imodrang Shinji Sanada, Supervising Editor, *The Japanese Language in Palau*, NINJAL, 2013

## 【Ⅱ】

・百足らず山田の道を  
波雲のうろはし妻と  
語らはず別れし来れば  
速川の行きも知らず  
衣手のかへりも知らず  
馬じもの立ちてつまづき  
せむすべのたづきを知らに  
もののふの八十の心を  
天地に思ひ足らはし  
魂合はば君来ますやと  
我が嘆く八尺の嘆き  
玉粹の道来る人の  
立ち留まり何かと問はば  
答へ遣るたづきを知らに  
さにつらふ君が名言はば  
色に出でて人知りぬべみ  
あしひきの山より出づる  
月待つと人には言ひて  
君待つ我を

## 反歌

・眠も寝ずに我が思ふ君は  
いづく辺に今夜誰とคาดหวังて来ませぬ

〔出典〕『萬葉集』卷13・三二七六、三二七七番歌

## 【Ⅲ】

臣安万侶言。夫、混元既凝、氣象未効、無名無為、誰知其形。然、乾坤初分、參神作造化之首。陰陽斯開、二靈為群品之祖。所以、出入幽顯、日月、彰於洗目。浮沈海水、神祇呈於滌身。

## （略）

然、上古之時、言意並朴、敷文構句、於字即難。已因調述者、詞不逮心。全以音連者、事趣更長。是以、今、或一句之中、交用音調。或一事之内、全以訓錄。即、辭理互見、以注明、意況易解、更非注。

〔出典〕『古事記』序文

## ■ アドミッション・ポリシー

奈良大学文学部における学位授与の方針（DP）で掲げている、①知識・技能の理解と活用、②問題発見・解決力、③多様性の理解、④コミュニケーション能力、⑤自律的で意欲的な態度、のいずれにも合致する能力を持ち、自らの研究を計画的に推進できる能力を持つ人材を受け入れる。以下、各専攻で定める能力をそなえていること。

1. 日本文学・日本語及びそれらに関連する文化的諸領域について、基礎的な知識をもち、かつ主体的に研究していける人。

## ■ 国文学専攻の評価のポイント

【国文学専攻】

- ①日本文学・日本語及びそれらに関連する文化的諸領域について、基礎的な知識を有しているか。
- ②基礎的な知識をもとに、専門知識を習得し、多様な観点からものごとを理解・分析できる能力を有しているか。
- ③自らが設定した研究テーマを計画的かつ主体的に推進できる能力を有しているか。

## 出題意図

当該試験科目は、本学文学研究科のアドミッション・ポリシーを踏まえ、以下を評価基準として、計2題を出題した。

- ① 日本文学・日本語及びそれらに関連する文化的諸領域について、基礎的な知識を有しているか。
- ② 基礎的な知識をもとに、専門知識を習得し、多様な観点からものごとを理解・分析できる能力を有しているか。

以下、設問ごとに出题の意図と評価基準、及び模範解答（例）を示す。

## 2024年度 専門科目

【一】次の中から一題選び、1000字以上で論述せよ。

- ① 萬葉集
- ② 古事記
- ③ 歌物語
- ④ 古注釈
- ⑤ 言文一致
- ⑥ 新感覚派
- ⑦ 方言圏論
- ⑧ ローマ字運動

### 〈出題の意図〉

- (1) 日本文学・日本語及びそれらに関連する文化的諸領域について、学士課程終了レベルの学力を有しているか。
- (2) 専門分野に基づく豊富な知識を有し、具体例を用いながら説明できているか。
- (3) 適切な文章表現を用いて、論理的に説明できているか。

### 〈模範解答例〉新感覚派

「新感覚派」は、大正末から昭和初期にかけて展開された日本近代文学の一潮流であり、同時期のプロレタリア文学や自然主義文学と並んで、当時の文学界に新たな刺激を与えた。大正デモクラシーの空気とヨーロッパ前衛芸術の影響を受け、芸術による現実の刷新を志向した点に大きな特徴がある。その中心的役割を果たしたのは川端康成や横光利一ら、当時の若手作家たちである。彼らは1924年に雑誌『文芸時代』を創刊し、新感覚派の拠点とした。この運動は、私小説に代表される写實的描写や感傷的表現を拒み、映画的視点（カメラ・アイ）や即物的描写を導入するなど、新しい文体と表現の創出を試みた。この若手作家の作品に共通する新しい表現方法を、千葉亀雄は「新進作家の感性的傾向」（『文芸時代』創刊号）で「新感覚」と評価し、それが「新感覚派」という文学史的呼称につながった。

新感覚派が目指したのは、現実をそのまま再現するのではなく、感覚や意識の流れを鋭敏に捉え、作品構造の中に「新しい知覚」を組み込むことであった。これには、当時流入していた未来派や表現主義、キュビズムといったヨーロッパ前衛芸術の影響が色濃く反映されている。作家は人間や社会を直接

的に描くのではなく、断片化された感覚、速度やリズムを前面に出し、都会的でモダンな感覚を表現した。

その中で最も顕著な業績を残したのが横光利一である。横光は「新感覚派の旗手」と呼ばれ、実験的な文体を駆使して斬新な作品を生み出した。たとえば初期の「頭ならびに腹」の冒頭部分では、あたかも映画のように語り手の目に映る感覚的断片を積み重ねる手法が特徴的で、文章表現による現実の再構築を目指す新感覚派の理念を体現している。さらに横光は、単なる実験的文体の創出にとどまらず、後の日本文学の展開に決定的な影響を与えた点でも重要である。彼の試みは、堀辰雄らなどの感覚的・詩的な文体の形成につながり、また後の前衛文学や戦後文学の実験的潮流にも受け継がれていった。以上のような点から、新感覚派は、日本文学におけるモダニズム的潮流の嚆矢として位置づけられる。彼らの実践は、文学を感覚表現の場として拡張し、近代文学の表現技法を大きく変革した。その試みは短期間で衰退したものの、近代から現代へと至る日本文学の展開において欠かせない存在だといえよう。

## 【二】次の中から四項目選び、知るところを述べよ。

- ① 柿本人麻呂    ③ 黄表紙    ③ ヤマトタケル    ④ 日葡辞書    ⑤ 防人歌  
⑥ 農民文学    ⑦ 枕詞    ⑧ ヘボン    ⑨ 万葉仮名    ⑩ 内向の世代

### 〈出題の意図〉

- (1) 自分の研究分野に関わる事項について、専門的な知識を有しているか。
- (2) 自分の研究分野以外の事項についても、幅広く基礎的な知識を有しているか。
- (3) 知識を的確に整理し、わかりやすく説明する能力を有しているか。

### 〈模範解答例〉黄表紙

近世後期に江戸で流行した草双紙の一種で、表紙が黄色いことから「黄表紙」と名づけられた。各丁に絵を配し、その余白に平仮名主体の文章をつづった絵本型小説で、現実世界を茶化して笑いに昇華させる「うがち」を特徴とする。代表的な作者に恋川春町や山東京伝などがいる。黄表紙の始まりとされる恋川春町「金々先生栄花夢」は、成功をめざして上京した金村屋金兵衛が、栗餅屋の軒先でうたた寝をし、夢の中で金持ちの養子となって遊里で豪遊するも、あまりの放蕩ぶりに勘当されたところで夢から覚めるというものである。

## 選択科目（古典、漢文、英語から試験当日に1題を選択）

【I】 Daniel Long & Keisuke Imamura with assistance from Masaharu Tmodrang ; Shinji Sanada, supervising editor "The Japanese language in Palau", NINJAL, 2013

【II】『萬葉集』巻13・3276、3277 番歌

【III】『古事記』序文

### 〈出題の意図〉

- (1) 出題された文章の内容を正確に理解できているか。
- (2) 適切な語彙を用いて翻訳文、または現代語訳を作成できているか。

### 〈模範解答例〉

※ 著作権の関係上掲載できません。